愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

公立大学法人
愛媛県立医療技術大学
〒791-2101
愛媛県伊予郡砥部町高尾田543番地
TEL 089-958-2111 FAX 089-958-2177
http://www.epu.ac.jp/

2018.06

EHIME PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES 2019

公立大学法人

愛媛県立医療技術大学

保健科学部 看護学科
臨床検査学科

助産学専攻科
大学院保健医療学研究科

2019
大学案内
INFORMATION

-技と思考を鍛える-

愛媛県立医療技術大学のキャンパスは、松山市の郊外、
「アートの里」砥部町の静かな恵まれた教育環境にあります。
本学は地域の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する県立の４年制大学です。
社会から求められるのは、プロとしての確かな力です。
４年間で人として豊かに生きる感性を磨きながら、医療の技と思考を鍛えます。
決してやさしい道ではありませんが、
プロとしての厳しさとやりがいにチャレンジするあなたを応援します。

- 沿 革 -

昭和62年12月　愛媛県立医療技術短期大学認可
昭和63年 4月　愛媛県立医療技術短期大学開学
平成 3年 4月　愛媛県立医療技術短期大学に専攻科開設
平成19年 3月　愛媛県立医療技術短期大学閉学

平成15年11月　愛媛県立医療技術大学設置認可
平成16年 4月　愛媛県立医療技術大学開学
平成22年 4月　公立大学法人に移行
平成24年 4月　愛媛県立医療技術大学に助産学専攻科開設
平成25年12月　愛媛県立医療技術大学大学院設置認可
平成26年 4月　愛媛県立医療技術大学大学院開設

愛媛県立医療技術大学

保健科学部
看護学科
臨床検査学科

助産学専攻科

保健医療学研究科

事務局
図書館
地域交流センター

-CONTENTS-

学長メッセージ……3
保健科学部……5
看護学科……7
臨床検査学科……11
助産学専攻科……15
学生支援……18
卒業生の状況及び就職状況……19
授業料・奨学金・その他の制度……20
図書館・大学院……21
在校生・卒業生からのメッセージ……23
キャンパスカレンダー・地域交流センター……25
キャンパスガイド……27
入学試験・オープンキャンパスについて……29
アクセスマップ……30

学長からのメッセージ

- 熱き心を持つ医療人を育てる -

愛媛県立医療技術大学は、医療の分野で社会に役立つことを目指す学生を教育し、看護師、保健師、助産師ならびに臨床検査技師として専門的な学識・技術をもった優秀な人材を社会に送り出すことを目的とする大学です。昭和６３年に開学した短期大学の歴史の上に、４年制大学として平成１６年４月に設置され、平成２２年に法人化、平成２４年４月には助産学専攻科（1年制）を発足させ、県内唯一の助産師養成課程をさらに充実させました。さらに平成２６年４月からは大学院が設置され、研究面においても活発で充実した大学に変身しつつあります。
平成３０年３月に卒業した学生の国家試験合格率は、看護師１００％、助産師１００％、保健師９６．７％、臨床検査技師１００％という素晴らしい成績で、さらに、就職率１００％で巣立って行きました。短期大学時代からあわせると、既に3,３００名を超える卒業生を送り出し、その多くがそれぞれの分野でリーダーとして活躍しており、高い評価を受けています。
医療の仕事は、社会から大いに期待され、社会に大きく貢献する大切な仕事です。しかし、単に医療の技術を学ぶだけでは立派な医療人なれるわけではありません。医療に対する熱意を身につけてこそ、患者さんに安心を届けることができるのです。このような考えに基づいた、小規模であることを生かした密度の濃い教育が本学の魅力と言えます。我々、教職員一同、学生の皆様の期待に応え、最高の教育を行えるよう努力しております。これから入学される皆さんが、希望に燃えて、この大学の新たな歴史を自分たちで作り上げ、さらに後に続く後輩につないで行くことを期待しています。

公立大学法人　愛媛県立医療技術大学
学長　橋本 公二
Koji Hashimoto

教育理念

生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観によって培われた広範な視野と深い人間理解の下に、保健及び医療に関する高度の専門的な知識と技術をもって、あらゆる人々の健康と福祉の増進に寄与することができる実践者を育成します。

教育目標

実践能力	高度の専門的知識・技術を駆使し、科学的根拠に基づいた実践能力を有する人材を育みます。
豊かな感性	深い人間理解と高度な倫理観及び生命の尊厳を基盤とし、 豊かな感性により人間の感情・意思及び自己決定権を尊重する人材を育みます。
協調・共働	保健・医療・福祉・教育など他の専門職の役割を理解し、柔軟に協調・共働しうる人材を育みます。
柔軟な思考	医学・医療技術の進歩発展や、保健医療に対する社会の変化・多様化に伴う要請に 柔軟に対応しうる人材を育みます。
自己教育力	職業人として自らの行動に責任を持ち、かつ継続的な学習により能力を高める人材を育みます。

【アドミッションポリシー】

本学の設置理念や教育目的に賛同し、地域の保健医療に貢献しようとする人材を受け入れます。受入れにあたっては、入学志願者の能力および適性等を多面的に判定し、多様な選抜試験を公正かつ妥当な方法で実施します。

求める学生像は以下のとおりです。

■保健医療に関心をもち、地域社会に貢献する意欲がある人
■自己の人間性を育み、他者を尊重する態度を有している人
■物事を論理的・多面的に捉え、自分の考えを表現できる人
■保健医療を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人

保健科学部

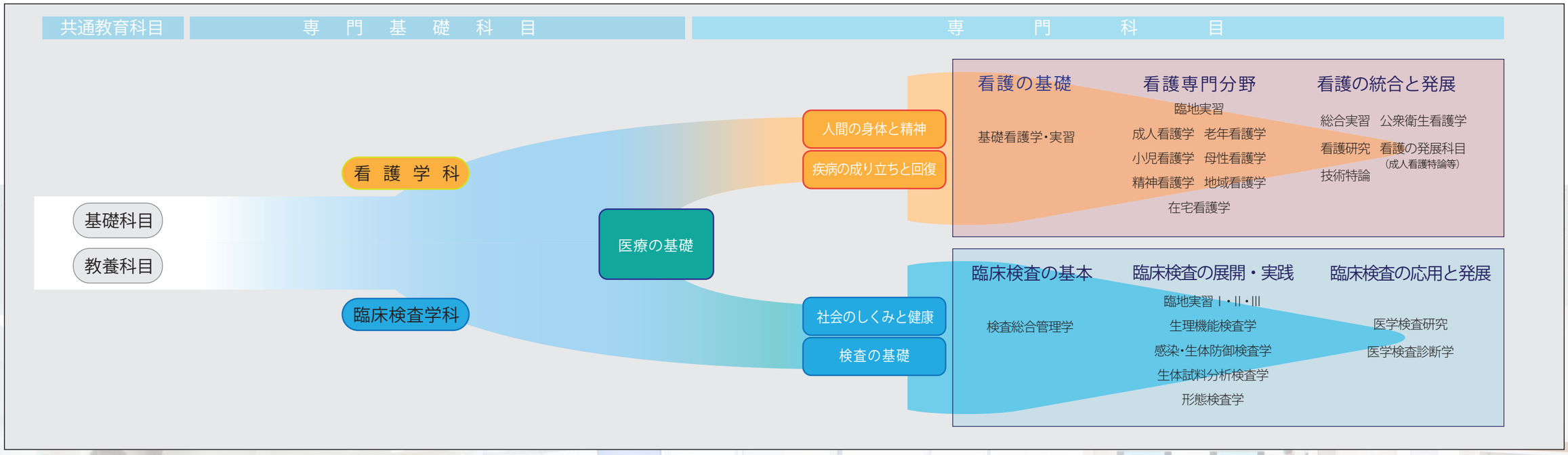
- 愛媛・砥部の里から光る原石の皆さんへ -

本学学校案内を手にとっていただき、ありがとうございます。本学は小規模校ではありますが、それだけに学生同士、学生と教員との距離が近く、学生たちは医療という厳しい学びのなかにあっても互いに支え合い大きく成長していきます。短期大学からの卒業生はすでに３７００名あまりとなり、さらなるキャリアアップに専門資格を取得したり、医療機関や行政機関で管理職に就いている人や教育機関で教育・研究者の道に進んでいる人も増えてきました。ここはその出発点となる“思考と技”“人間力”を鍛える場です。入学してくる学生たちは皆資質が高く、“磨けば光る原石”ばかりです。本学卒業・修了後には期待どおり輝きを放てるようこれからも一人ひとりを大切に育てていきたいと思っております。この愛媛・砥部の里でともに学び、医療者の一員に加わってくださることを期待しています。

学部長　中西　純子
Junko Nakanishi

Faculty of Health Sciences

-保健科学部カリキュラムの概要-



【カリキュラムの特色】

深い人間理解や地域理解のもと、保健医療の質の向上に貢献できる専門知識・技術を修得し、実践能力と学究的姿勢が身につくようにカリキュラムを構成しています。

・人間理解および倫理観の醸成

広く人間を理解し、生命の尊厳や倫理観を養うために必要な教養教育の充実を図り、目的意識をもって学ぶことができるよう選択科目を多く設けています。また、基礎となる科目での学びを深めながら専門分野への興味関心が湧くように、１年次から少しずつ専門科目を学びます。

・地域住民の生活理解と健康増進への寄与

社会のしくみや環境との関わりの中で人々の健康を考えることができるよう各種制度論や公衆衛生学を両学科の学生が一緒に学び、少子高齢化社会において人々の健康を手助けする担い手としての力を身につけます。

・コミュニケーション能力の養成

保健医療の分野に携わる者には、正確に物事をとらえ、それを人に伝える能力が大切です。基本的な日本語の文章表現や語学、コミュニケーション論などを学ぶとともに、カウンセリングや面接技法の学習によって自分の意思や感情を表現する方法を身につけます。

・実践に活用できる専門的知識・技術の修得

２年次からの臨地実習や実験によって、科学的知　識に基づいて観察・判断できる力や情報を統合し課題を解決する力を身につけます。技術は、卒業時到達度を明確にして全員達成できるよう繰り返し学習します。また、保健医療福祉現場の実践者の協力を得て、現実に近い学びができるよう工夫しています。

・チーム医療の実践力の強化

看護学科・臨床検査学科の２学科で構成される大学の特色を生かし、少人数討議法を取り入れながら相互理解を深め、入学初期の段階から両学科一緒に学ぶ科目を配しています。実習経験を積んだ４年次には、チーム医療の重要性を認識し、他職種の役割を理解して共に働くことができる力を身につけます。

・課題探究能力の養成

１年次から、少人数形式のゼミ等によって大学生としての主体的な学び方や学習資源の活用法を段階的に身につけます。４年次にはその仕上げとして統合・発展科目群を学習し、課題解決能力や研究的な視点を養います。

Department of Nursing

保健科学部　看護学科

看護は、人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、もてる力を引き出していく仕事です。
超高齢社会にあって、看護職は医療機関はもちろんのこと地域・在宅、福祉施設や企業・学校など、多様な場において様々な人々と連携・協働していく役割が求められています。

・看護職として地域社会の役に立ちたいと考える人
・人々の生き方・暮らし・健康・社会に関心がある人
・リーダーシップ・メンバーシップが発揮できる人

-看護学の専門分野と特徴-

看護学の専門分野は、対象とする人のライフステージや健康レベル、看護を実践する場の特性等によって成り立っています。
本学では１０頁のような分野に区分して教育を展開しつつ、実習や研究などを通して全体の統合をはかっています。
看護師国家試験受験資格を得るための看護基礎教育では、これらの幅広い分野をすべてトータルに学んだジェネラリストの養成をめざします。また、これらに加えて、保健師国家試験受験資格をめざす学生には公衆衛生看護学科目を、看護学の各専門分野をさらに深化・発展させたい学生には看護特論などの発展科目の履修ができるようカリキュラムを構築しています。
看護学の専門分野は、近年、より細分化・拡大化し、卒後のキャリアアップでは特定分野のスペシャリストとして活躍する道も拡がっています。本学科はその出発点として、知識・技術・態度のすべてにおいて基礎のしっかりした看護職を育てるべく、教育・臨床経験豊かな教員たちが小規模校の特徴を活かして密な指導を展開しています。

- 取得可能な資格 -

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格

公衆衛生学選択者のみ取得可能
希望者の中から３０名以内を選考します。

養護教諭２種免許申請資格

一般授業科目を放送大学にて受講する必要がある場合があります。

衛生管理者免許申請資格

※養護教諭２種免許申請資格及び衛生管理者免許申請資格は保健師免許取得者が申請可能です。

主な実習施設

愛媛県立中央病院ほか松山市・伊予市・東温市の医療機関
伊予市の介護老人保健施設
松山市・伊予市・砥部町の訪問看護ステーション
愛媛県内の保健所及び市町
砥部町の保育所

看　護　学　科

カリキュラム

年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
共通教育科目	**教養科目**							
	大学コンソーシアムえひめ「共同授業」	愛媛の文化 性と健康 社会学 文学　哲学　法学 文化人類学 環境科学	科学論 国際文化コミュニケーションA 国際文化コミュニケーションB 現代メディア論					
	基礎科目							
	初学者ゼミ 日本語表現法 基礎科学A（生物コース） 基礎科学B（化学コース） 基礎科学C（物理コース） 生物学　化学 物理学 情報科学 生命科学 英語Ⅰ　英会話Ⅰ スポーツA スポーツB エクササイズ	基礎ゼミ 統計学 生命倫理 心理学 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	コミュニケーション論	研究の基礎				
専門基礎科目	**医療の基礎**							
	医療概論（共通）			医療と安全（共通）			チーム医療（共通）	医療と法（共通）
	人間の身体と精神							
	人体の構造・機能Ⅰ（共通） 人体の構造・機能Ⅱ（共通）	人体の構造・機能Ⅲ（共通） 生命活動と代謝	生涯発達心理学（共通） カウンセリング入門（共通） 人間工学（共通）	ヒトの遺伝学（共通）				
		疾病の成り立ちと回復						
		疾病発生の機序 感染と免疫 食と栄養（共通）	臨床病態学Ⅰ（共通） 臨床病態学Ⅲ 臨床病態学Ⅳ 薬と健康（共通）	臨床病態学Ⅱ（共通）	リハビリテーション医療 放射線医学（共通）			
			社会のしくみと健康					
			社会保障制度論（共通） 公衆衛生学（共通）	保健医療福祉行政論（共通） 疫学（共通）	医療と経済（共通）		保健統計学　（公衆衛生看護学選択者のみ） 保健統計学演習（公衆衛生看護学選択者のみ）	
専門科目	**専門分野一**							
	基礎看護学							
	看護学概論 基礎看護方法論Ⅰ （基盤となる援助技術）	基礎看護方法論Ⅱ （生活援助技術）	基礎看護方法論Ⅲ （治療に伴う援助技術） フィジカルアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ （生活と治療に伴う援助）	看護過程 基礎看護学実習Ⅱ （看護過程） 看護倫理				
		専門分野二						
			成人看護学					
			成人看護対象論	健康教育論	急性期看護方法論 慢性期看護方法論 終末期・緩和ケア方法論	急性期看護論実習 慢性期看護論実習		
			老年看護学					
			老年看護対象論		老年看護方法論	老年看護学実習		
			小児看護学					
			小児看護対象論		小児保健 小児看護方法論	小児看護学実習		
				母性看護学				
				母性看護対象論	ウィメンズヘルスケア 母性看護方法論	母性看護学実習		
		精神看護学						
		メンタルヘルス論		精神看護対象論	精神看護方法論	精神看護学実習		
			統合・発展分野					
			地域・在宅看護学					
			地域看護学概論 家族看護論	地域診断論	地域看護方法論 地域ケアマネジメント論 在宅看護論	地域看護学実習 在宅看護論実習		
			統合科目					
			ふれあい実習			技術特論	災害看護 看護管理　総合実習	看護研究
							発展科目 成人看護特論 老年看護特論 小児看護特論 精神看護特論 在宅看護特論 看護教育学	
							公衆衛生看護学 産業看護活動論 （下記のカリキュラムは公衆衛生学選択者のみ受講） 公衆衛生看護学概論 公衆衛生看護方法論 ヘルスプロモーション展開論 公衆衛生看護学実習	公衆衛生看護特論

※共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業
（共通）は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

基礎看護学

看護の基盤となる知識や技術、態度の修得を目指す領域です。例えば、看護の対象となる人間や健康、環境や社会、看護理論などを学ぶとともに、学生が互いに看護師役、患者役となり看護に必要な日常生活援助の技術や血圧測定、採血などの診療補助の技術を身につけます。また、卒業後も医療の発展に対応し、クライエントに最適な看護を実践するための知識や技術を自ら学び続けることができるよう、教授方法を工夫しています。

成人看護学

青年期から向老期までの幅広い年齢層にある人々を対象に、発達段階を踏まえ、身体・心理・社会的側面から対象を理解し、健康問題や健康レベルに応じた援助について幅広く学ぶ分野です。生命の危機状態や手術療法にともなう看護、病気や障害とともに生きる人の援助方法について学びます。講義や学内演習でも臨床の場がイメージできるように工夫し、様々な知識・技術を身につけて臨地実習が行えるようにしています。

老年看護学

老年看護学分野では、加齢による心身の変化の特性を理解した上で、様々な健康レベルにある高齢者とその家族の健康と生活を支える看護を探求します。疾患や障害をもちながらも生き生きとした暮らしができ、よりよい人生を全うできる支援のあり方を高齢者と共に考え、専門的知識を活用しながら実践する力を身につけます。

小児看護学

子どもの心と体の健康や病気の時の看護、さらに子どもだけでなく子育てをする家族を含めた看護を学びます。子どもの発達・病気の理解を通じて、子どもの幸せな生活を築き家族の成長をも支える看護の在り方を追求しています。授業や実習は将来の子育てにも役立つ情報がいっぱいの内容です。

母性看護学

母性看護学分野では，女性のライフサイクル各期における健康問題とその看護、さらに、新しい家族を迎える女性とその家族に対する妊娠期から育児期までの、切れ目ない支援を意識した看護実践について学びます。また、講義・演習・実習を通して、女性の一生を通したリプロダクティブヘルスに向けた健康支援の意義を、学生間および教員とのディスカッションによって深めていきます。

精神看護学

精神疾患や精神障害の有無に関わらず、広くこころの健康の保持・増進、回復に向けた看護について学びます。実習は、精神科病棟と精神科デイケアセンター、精神障害者の社会復帰施設をフィールドとし、対象となる人々を全人的に理解し、治療的援助関係を築きながら、その人らしい生活を送ることができるように援助する力を養います。

地域・在宅看護学

地域看護学では、地域住民の生活を理解し、健康の保持・増進を支援する方法を教育研究しています。3年次実習で県内の保健所や市町に出向いて地域保健活動を理解し、保健師選択学生は4年次に公衆衛生看護学実習でより実践力を培います。在宅看護領域は、入院前後のケアを繋ぐものとして外来看護や訪問看護の意義を理解し、福祉用具を用いて負担を減らす技術など、在宅療養者と家族を支える看護を探究します。

- 自己教育力を高める看護の道 -

看護は人間の生老病死に寄り添いながらその尊厳と安全を守り、ご本人やご家族がもっている力を引き出していく仕事です。このことは昔も今も不変である一方、時代や医療の革新とともにより高い実践力が求められ、看護の役割や働く場も拡大してきました。認定看護師や専門看護師等、より専門性の高い看護師としての道も開けています。
決して簡単な道程ではありませんが、その先には誰かのために自分の力が役立つ喜びがあります。大学での4年間で自分自身を育てるのはあなたです。将来、この道を選んで良かったと思う日がきっときます。仲間とともに歩みましょう！

看護学科長　野村美千江
Michie Nomura

Department of Medical Technology
保健科学部　臨床検査学科

臨床検査は、病気の正確な診断や治療方針を決定するために必要なデータを提供する仕事です。最新の医学を基礎とし、医用機器を駆使した高度な検査を行うとともに、健康増進・予防医学・研究開発の分野でも役割を求められています。
このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、臨床検査学科では、保健科学部として求める学生像に加えて下記のような入学生を求めます。

・臨床検査技師として、保健医療の分野で活躍したい人
・人間の体の仕組みや機能、健康・病気に関心がある人
・他者を尊重し、連携・協働していける人

-臨床検査学の専門分野と特徴-

臨床検査は科学技術の進歩が最も迅速に反映される医療分野の一つです。本専門分野では、最新の知識技術に基づいた教育を行い、目覚ましく進歩する医療・臨床検査に対応できる応用力・創造力を持つ専門家の育成に取り組んでいます。特に、最近急速な進歩がみられるがん細胞検査、遺伝子検査をはじめとする種々の先進医療検査を駆使することが出来る深い知識、高度な技術を修得し、医療を担うチームの一員として活躍できる人材の養成を目指しています。
本学科は臨床検査技師の教員と医学系・理学系の教員が、幅広くまた高度な内容について教育研究を行っています。本専門分野の教育は様々な研究背景を持つ教員が協力し、臨床検査の専門家養成のための徹底的な教育・指導体制をとっています。

- 取得可能な資格 -

臨床検査技師国家試験受験資格

甲種危険物取扱者試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

※食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格は必要な選択科目を習得する必要があります。

- 主な実習施設 -

臨地実習Ⅰ	愛媛生協病院 済生会松山病院 貞本病院 鷹の子病院 道後温泉病院 ＮＴＴ西日本松山病院 国立病院機構愛媛医療センター
臨地実習Ⅱ	愛媛県中予保健所 愛媛県衛生環境研究所 愛媛県総合保健協会 愛媛県厚生連健診センター
臨地実習Ⅲ	愛媛県立中央病院 愛媛大学医学部附属病院 国立病院機構四国がんセンター 松山赤十字病院

臨 床 検 査 学 科

カリキュラム

年次	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
共通教育科目	**教養科目**							
	大学コンソーシアムえひめ「共同授業」	愛媛の文化 性と健康 社会学 文学　哲学　法学 文化人類学 環境科学	科学論 国際文化コミュニケーションA 国際文化コミュニケーションB 現代メディア論					
	基礎科目							
	初学者ゼミ 日本語表現法 基礎科学A（生物コース） 基礎科学B（化学コース） 基礎科学C（物理コース） 生物学　化学 物理学 情報科学 生命科学 英語Ⅰ　英会話Ⅰ スポーツA スポーツB エクササイズ	基礎ゼミ 統計学 生命倫理 心理学 英語Ⅱ 英会話Ⅱ	コミュニケーション論	研究の基礎				
専門基礎科目	**医療の基礎**							
	医療概論（共通）			医療と安全（共通）			チーム医療（共通）	医療と法（共通）
	人間の身体と精神							
	人体の構造・機能Ⅰ（共通） 人体の構造・機能Ⅱ（共通）	人体の構造・機能Ⅲ（共通） 人体の構造・機能実習	生涯発達心理学（共通） カウンセリング入門（共通） 人間工学（共通）	ヒトの遺伝学（共通）			患者・家族の心理	
		疾病の成り立ちと回復						
		食と栄養（共通）	臨床病態学Ⅰ（共通） 薬と健康（共通）	臨床病態学Ⅱ（共通）	臨床病態学Ⅴ 放射線医学（共通）			
			社会のしくみと健康					
			社会保障制度論（共通） 環境衛生学 公衆衛生学（共通）	保健医療福祉行政論（共通） 公衆衛生学実習 疫学（共通）	医療と経済（共通）			
		検査の基礎						
		分析化学 生化学 医用物理学	生化学実習 医用工学	医用工学実習				
専門科目			**形態検査学**					
			病理学 血液学	病理学実習 臨床血液学	病理組織細胞学 臨床血液学実習	病理組織細胞学実習		
			生体試料分析検査学					
			臨床検査総論 臨床検査機器総論 臨床化学Ⅰ	臨床検査総論実習 臨床化学Ⅱ	臨床化学実習 分子生物学 遺伝子検査学	放射線検査概論 遺伝子検査学実習		
			感染・生体防御検査学					
			微生物学 免疫学	臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床免疫学	微生物学実習 臨床免疫学実習 輸血移植検査学	臨床微生物学実習 医動物学 輸血移植検査学実習		
			生理機能検査学					
			生理機能検査学Ⅰ	生理機能検査学Ⅱ	生理機能検査学実習Ⅰ	生理機能検査学実習Ⅱ 画像検査学		
	検査総合管理学							
	臨床検査学概論					院内感染管理学 医療情報学		検査管理学
				医学検査の実践				
				臨地実習Ⅰ		臨地実習Ⅱ	臨地実習Ⅲ	
							医学検査の応用・発展	
							医学検査診断学Ⅰ 医学検査研究	医学検査診断学Ⅱ 医学検査セミナー
					食品衛生管理者・食品衛生監視員の任用資格取得科目 食品関係法規 食品衛生学 衛生行政学 毒性学			

※共通教育科目は看護学科と臨床検査学科の合同授業
（共通）は、看護学科と臨床検査学科の合同講義

形態検査学

生体を構成する臓器や組織、血液細胞の形態を観察し、正常と異常の相違点、異常と疾病の関係を理解するために形態学的検査技術および理論を基礎から学びます。「病理組織細胞学実習」や「臨床血液学実習」を通じて、標本の作成法や種々の染色法を駆使して顕微鏡観察を行うことにより、各組織の特長を把握し、反応性病変、癌細胞や白血病細胞、赤血球の形態異常などを正確に判定する方法を学びます。

生体試料分析検査学

血液や尿などに含まれる様々な成分を化学的分析法、遺伝子検査法などを用いて測定し、病気の診断、治療、予後、治療の適否や健康状態を的確に把握するためのデータを得る方法について学びます。また、これらの内容を充分に理解し修得するために、生命現象を分子レベルで把握する分子生物学、検査に使用される機器の基本的な構造、使用方法や測定に使用される放射性物質の取り扱いについても学びます。

感染・生体防御検査学

近年、著しい進歩を遂げている免疫学ではあるが臨床への応用・還元という点では、まだ不十分であります。更に、温暖化の影響によって日本でこれまで無縁と考えられていた感染症が確認されるようになっています。このような状況の中で、生体防御機構や感染症についてより深く学ぶと共に実習を通じて自己免疫やアレルギー疾患の診断に重要な検査方法についても学びます。

生理機能検査学

生理機能検査は、病気の診断や治療に必要な情報を得るため、ヒトの体に直接触れて調べる検査です。検査項目によっては、技師の能力が検査結果に影響を及ぼす場合があります。技師として、より良い生体情報を得られる能力・技術を身につけるだけでなく、検査結果を解析し評価できる能力が必要になります。そのために検査手技・データ解析能力だけでなく、機器の構造・原理等についても学びます。また、患者と接する検査ということから接遇・個人情報保護等についても学びます。

検査総合管理学

検査総合管理学では、臨床検査技師の役割や、臨床検査データの重要性を理解するために、臨床検査の歴史から臨床検査技師に関する法律まで幅広く学習します。特に、臨床検査データの品質管理である精度管理と、医療事故や院内感染などに対する危機・安全管理、臨床検査部門を運営するための人事・財務管理などを重点的に学びます。

- 検査でチーム医療に貢献する -

近年の医療の高度化・複雑化に伴い、医療現場では医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士・作業療法士など多職種の医療スタッフが連携してチーム医療を行うようになっています。このような中、臨床検査技師が医療チームの一員として果たすべき役割も一層重要なものとなっています。
本学科では臨床検査に必要な知識と技術を修得し、新たな課題に対し適切な判断と解決能力を身につける特色あるカリキュラムを用意しています。また、教育・研究に熱意のある経験豊富な教員が、皆さんに、親切・丁寧に、臨床検査技師に必要な知識・技術の修得の援助をいたします。将来、臨床検査技師として、医療の世界で活躍したいと思っている皆さん、本学で私たちと一緒に学びませんか。

臨床検査学科長　佐田 榮司
Eiji Sada

Graduate Program in Midwifery

助産学専攻科

助産師は、あらゆるライフステージにある女性と家族を支援するために、母子や家族に寄り添える豊かな人間性と助産学の知識・技術に基づく高度な実践能力を必要とする職業です。
現代の少子・高齢社会においては、母子保健を担う助産師に求められるニーズは幅広く、医療機関のほか、助産所・保健所・市町村など、多様な分野における活躍が期待されています。
このような社会のニーズに応えられる人材を育成するために、助産学専攻科では下記のような入学生を求めます。

- **生命誕生に強い関心をもち、主体的に助産学を学習できる人**
- **地域の母子保健に貢献する意志をもつ人**
- **豊かな感性と倫理観をもち、柔軟な発想をもってものごとに立ち向かえる人**

※助産学専攻科に入学するためには、大学卒業等の資格を有し、かつ看護師免許を有するか又は看護師国家試験受験資格を有することが必要です。

到達目標

●倫理観と責任感
生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感をもち、対象を尊重することができる。

●地域に密着した活動
女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した積極的な活動ができる。

●自立
専門職業人として、自立した助産師として役割が遂行できる。

●研究
助産ケアの質の向上を図るために、日常行っているケアを研究的視点で科学的に検証し、追究することができる。

●柔軟な思考
周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに対応できる柔軟な思考を持つことができる。

●リプロダクティブヘルス／ライツ
女性のリプロダクティブヘルス／ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。

●助産診断・助産技術
マタニティサイクルにある女性のその人らしさを尊重し、自然の機序を最大限に発揮するための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる。

- 取得可能な資格 -

受胎調節実地指導員
助産師国家資格受験資格

主な実習施設

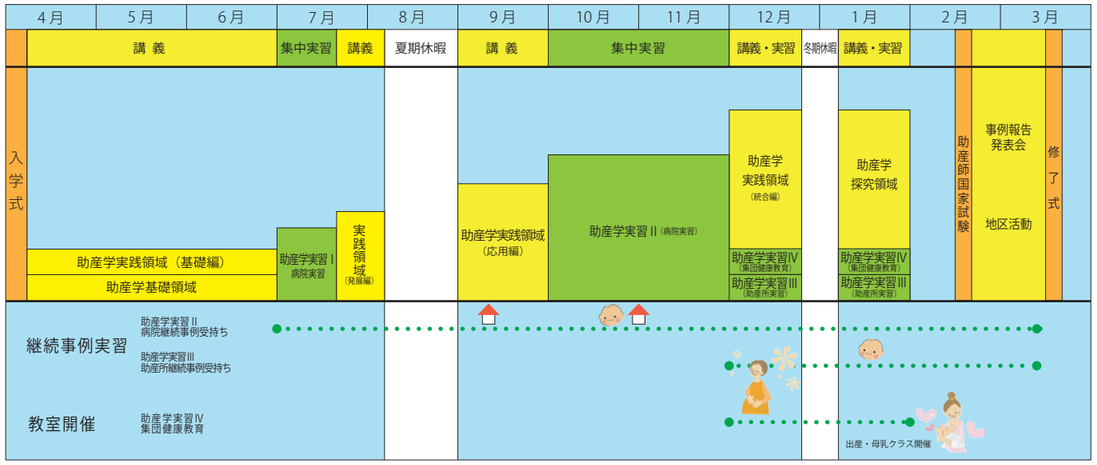
愛媛県立中央病院
松山赤十字病院
四国中央病院
NTT 西日本 松山病院
まつやま助産院

教育課程

区分	授業科目	単位数 必修	単位数 選択
助産学基礎領域	助産学概論	1	
	性と生殖の形態機能	1	
	周産期医学	2	
	新生児・乳幼児学	1	
	生殖医療と生命倫理	1	
	計　必修 6 単位		
助産学実践領域	助産診断・技術学 I	1	
	助産診断・技術学 II	2	
	助産診断・技術学 III	1	
	助産診断・技術学IV	1	
	周産期ハイリスクケア論	1	
	統合ヘルスケア	1	
	ウイメンズヘルスケア	1	
	思春期ヘルスケア		1
	親子関係発達論		1
	国際助産活動論		1
	助産管理	2	
	助産学実習 I	3	
	助産学実習 II	8	
	助産学実習 III	1	
	助産学実習IV	1	
	計　必修 23 単位・選択 2 単位以上		
助産学探究領域	助産学研究 I	1	
	助産学研究 II	1	
	計　必修 2 単位		
	修了要件単位数 33 単位以上		

夢に向かってステップアップ！～助産師への階段～

一歩ずつステップアップしていけるよう、段階的に講義・実習をすすめていきます。母子の成長とともに助産学生としての成長を実感できる１年間となっています。



-1 年後の感動を目指して -

助産師受験資格を取得するには、かつて本学もそうであったように４年間の看護基礎教育課程のなかで、看護師受験資格と同時に取得することができる大学もあります。そのようななか、本学助産学専攻科の特徴は、学士力と看護師としての基礎的な実践力を身に付けた上に、助産師としての専門的な知識やスキルの獲得に１年間集中できることにあります。そのため、助産師国家試験合格率は専攻科開設以来１００％合格を続けていますし、仲間同士の絆も深く、修了後のネットワークにもつながっています。そこにはプラス１年の価値が十分にあると確信しています。１年間の短い時間のなかで昼夜を問わない実習には覚悟が必要ですが、それだけにやりきった先の達成感は大きく、それを教員、臨地実習施設の指導者、協力していただく妊産褥婦の方たちとともに喜び合える感動が待っています。

専攻科長　中西 純子
Junko Nakanishi

学　生　支　援

本学の支援体制

1. 学生の目線に立った支援体制
2. 学生個々に対するきめ細やかな指導体制
3. 学生が相談、連絡しやすい体制

を基本にしています。

学生相談システム

学生生活で生じる様々な問題や悩みの解決を手助けするため、学生相談室を設置しています。学内相談員が相談にあたるほか外部カウンセラー（臨床心理士）による相談も行っています。その他各教員がオフィスアワーを設定し、どの教員でも相談に応じています。

・外部カウンセラー（臨床心理士）：予約制　学内外の生活で生じる様々な問題や悩みについて対応します。
・オフィスアワー：学生の皆さんからいろいろな疑問や悩みの相談等を受けるために、あらかじめ設定された時間帯に指定した場所（研究室等）に教員が待機しておくシステムです。

クラス顧問システム

各学科学年に応じて必要数の教員が、大学生活に関する学生からの相談窓口を担当しています。学年進行に応じて必要なガイダンスや連絡などを行い、大学生活がスムーズに送れるように支援します。

国家試験受験への支援

各種国家資格の取得は大学生活最後の関門です。学生の自主性をもとに教職員が支援しています。学生を中心とした国家試験対策委員を設置し、ガイダンス、模擬試験情報、手続き支援、補習講義などを企画しています。また、模擬試験の結果をもとに担当教員が個別指導を行う場合もあります。

就職への支援

学生への就職支援は、学生委員、クラス顧問を中心に、必要に応じて各種専門領域の教員による個別指導を行っています。学生個々が自由に就職情報を検索できるように求人情報は就職情報コーナーに設置しています。
また、就職関連プログラムとして、３年次生を対象に就職ガイダンスセミナーを開催しており、全学的に支援しています。

防犯安全対策

愛媛県警察本部の協力を得て、次のような対策をとっています。新たな学生生活が安心、安全なものとなるようバックアップしています。

・犯罪被害の防止：犯罪被害防止教室の開催、犯罪情報の周知徹底
学生が被害者とならないために、防犯意識を啓発しています。
・交通安全指導：交通安全に関する講話および交通安全講習会を開催しています。
・防犯ブザーの配付：女子学生が通学や日常生活の場で犯罪に巻き込まれないようにするため配付しています。

ハラスメント対策

セクシャルハラスメント、アカデミックハラスメントへの対策は大学全体で取り組んでおり、被害が生じないような体制を整えています。

・学生が訴えやすいような窓口の設置（学生相談システム参照）
・パンフレットによる広報活動
・全教職員がハラスメント研修、講習を受講

-多様なニーズに対応した学生支援-

本学は、学生の皆さんの「医療専門職になりたい、さらなる資格を取りたい」という夢の実現に向けて、入学から卒業までの学生生活が、安全で、快適なものとなるよう、様々な側面からの支援体制を整備しています。また、在学中のみならず、卒業後も就職や転職などの相談にいつでも応じるなどの支援を行っています。さらに、平成 26 年度に開設した大学院は、社会人学生を数多く受け入れており、職業生活と学生生活を両立するための相談に応じるなど、きめ細やかな支援体制を整えています。

学生部長　野本 百合子
Yuriko Nomoto

卒業生の状況

平成３０年３月に卒業した学生は、

○ 国家試験合格率９９．３％

平成２９年度卒業生の国家試験合格状況 ※新卒者のみ

学科・専攻科	国家試験	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）	全国合格率（%）
看護学科	看護師	72	72	100	96.3
	保健師	30	29	96.7	85.6
助産学専攻科	助産師	14	14	100	99.4
臨床検査学科	臨床検査技師	24	24	100	90.5
合　計		140	139	99.3	-

○ 平成２９年度卒業生（就職希望者）就職率１００％

卒業１１４名＝就職１０５名＋進学５名＋継続勤務４名

平成２９年度就職状況

看護学科 就職状況

県内	愛媛県立病院	愛媛県内
	愛媛大学医学部付属病院	東温市
	松山赤十字病院	松山市
	今治市・保健師	今治市
	新居浜市・保健師	新居浜市
	八幡浜市・保健師	八幡浜市
	東温市・保健師	東温市
	伊予市・保健師	伊予市
	内子町・保健師	内子町
	伊方町・保健師	伊方町
	鬼北町・保健師	鬼北町
	伊予病院	伊予市
	NTT西日本松山病院四国健康管理センター（保健師）	松山市
県外	島根県立中央病院	島根県
	宮崎県職員（スクールサポーター）	宮崎県
	三重大学医学部付属病院	三重県
	大阪医科大学付属病院	大阪府
	川崎医科大学付属病院	岡山県
	兵庫医科大学病院	兵庫県
	名古屋市立大学病院	愛知県
	神戸大学医学部附属病院	兵庫県
	岡山大学病院	岡山県
	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県
	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県
	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター	大阪府
	独立行政法人 地域医療機能推進機構　三島総合病院	静岡県
	地方行政独立法人 神戸市民病院機構	兵庫県
	広島赤十字原爆病院	広島県
	福岡赤十字病院	福岡県
	淀川キリスト教病院	大阪府
	日立総合病院	茨城県
	聖路加国際病院	東京都
	JA尾道総合病院	広島県
	厚生中央病院	東京都
	ケアプロ株式会社	東京都
	大阪府済生会吹田病院	大阪府
	大阪急性期・総合医療センター	大阪府
	大分県医療生活協同組合大分健生病院	大分県
	仁愛会　浦添総合病院	沖縄県
	医療法人　川崎病院	兵庫県
進学	愛媛県立医療技術大学助産学専攻科	愛媛県

臨床検査学科 就職状況

県内	愛媛大学医学部付属病院	東温市
	松山赤十字病院	松山市
	松山市民病院	松山市
	済生会 松山病院	松山市
	医療法人 住友別子病院	新居浜市
	松山記念病院	松山市
	つばきウイメンズクリニック	松山市
	公益財団法人 愛媛県総合保健協会	松山市
	愛媛県厚生農業協同組合連合会	松山市
県外	太田市立病院	島根県
	独立行政法人 国立病院機構京都医療センター	京都府
	大阪赤十字病院	大阪府
	松江赤十字病院	島根県
	板橋中央総合病院	東京都
	JA広島総合病院	広島県
	戸田中央総合病院	埼玉県
	愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院	愛知県
	鹿児島共済会 南風病院	鹿児島県
	沖縄徳洲会 中部徳洲会病院	沖縄県
	里仁会　興生総合病院	広島県
	JCHO　千葉病院	千葉県

助産学専攻科 就職状況

県内	愛媛県（県病院）	愛媛県内
	松山赤十字病院	松山市
	公立学校共済組合 四国中央病院	四国中央市
	医療法人 住友別子病院	新居浜市
県外	兵庫県立西宮病院	兵庫県
	名古屋市立西部医療センター	愛知県
	東大阪市立東大阪医療センター	大阪府
	大阪市立十三市民病院	大阪府
	京都府立医科大学付属病院	京都府
	倉敷成人病センター	岡山県

授業料・奨学金・その他の制度

授業料・諸費用（平成２９年度実績）※金額は改定される場合があります。

区分		保健科学部	助産学専攻科	大学院	備考
入学選考料		17,000円	17,000円	30,000円	
入学料	県内居住者	282,000円	169,200円	282,000円	次のいずれかに該当する者 ①入学者本人が、平成３０年４月１日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者 ②入学者本人の配偶者又は１親等の親族が、平成３０年４月１日以前から引き続き愛媛県内に住所を有する者
	県外居住者	423,000円	253,800円	423,000円	上記以外の者
授業料		535,800円	535,800円	535,800円	前期（４月）後期（10月）に半額ずつ納付

減免制度

特別の事情（学費を負担している者が死亡したり、災害に遭ったりした場合等）により、授業料等（入学選考料、入学料及び授業料）を納付することが困難と認められる者に対し、減免等（減免、納付猶予及び分納）の制度を設けています。

奨学金制度

奨学金は、成績が良好かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、学業の継続を援助するための資金を貸し付ける制度で、以下の制度があります。本学では、学内掲示板で随時お知らせするとともに、例年４月に奨学金説明会を開催しています。

日本学生支援機構奨学金（選考あり）

第一種【無利子貸与】

（1）保健科学部、助産学専攻科

自宅通学者　月額45,000円

自宅外通学者　月額51,000円

※上記のほか、月額30,000円も選択できます。

（2）大学院

月額5万円、8万8千円の２種類から選択できます。

第二種【有利子貸与】

（1）保健科学部、助産学専攻科

月額3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の5種類から選択できます。

（2）大学院

月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の5種類から選択できます。

詳しくは 日本学生支援機構ホームページ　http://www.jasso.go.jp

その他

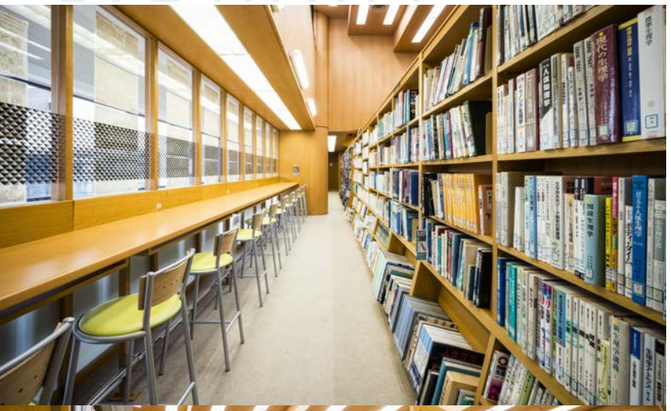
自治体や公的団体などで奨学金制度を整備しているところもありますので、詳細は事務局教務学生グループへお問い合わせください。

総合補償制度

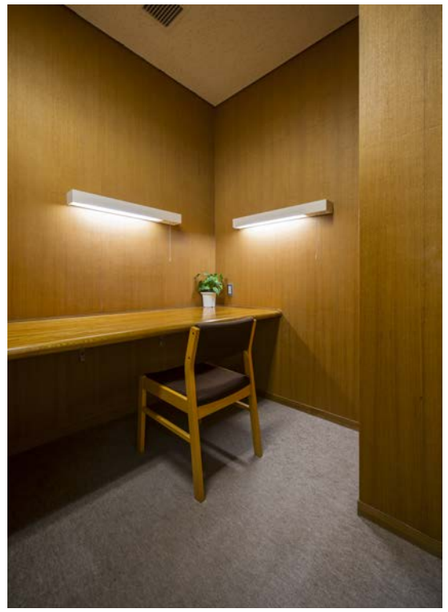
実習先を含めた大学管理下（学内、登下校中、サークル活動中等）での傷害事故、実習中の針刺し事故などに起因する検査・治療費用及び第三者に対する賠償責任等（交通事故を除く）を補償する保険制度に、本学の学生は全員が加入します。

なお、保険料の負担や加入手続きは、後援会で行います。

【保険料　年間：4,500円】



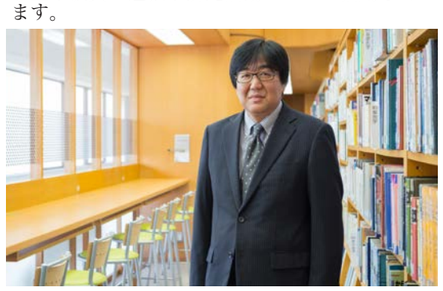
図書館ラーニングコモンズ



個室学習スペース

- 大学だけでなく地域からも愛される図書館として -

図書館は、学生や教員の教育や研究活動を支援するための図書、雑誌、学術情報データベースおよび電子ジャーナルをそろえています。看護学・臨床検査学・医療に関する資料は県内随一であり、本学学生・教職員だけでなく愛媛県内の他大学の学生、看護師、臨床検査技師の人たちや一般の人たちも医療の情報を収集するために利用しています。平日は午前９時から午後９時まで、土曜日も午前９時から午後５時まで開館してるため、常に館内の学習スペースやラーニングコモンズでは、学生や教員が勉強や研究活動のために活用しています。



図書館長　草薙 康城
Yasuki Kusanagi

大学院 保健医療学研究科 - 平成 26 年 4 月開設 -

基本理念・教育目標

基本理念

保健医療学研究科は、「地域の保健医療を支える」を基本理念として、保健医療の分野に関してより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、総合的な判断能力・指導力・教育力を有する高度専門職業人を育成します。

教育目標

本研究科は、保健医療福祉分野における社会的な諸課題を具体的に解決することにより健康でこころ豊かに生活できる地域社会の実現に貢献し得る高度専門職業人を育成することを基本目標とし、修士課程において次のような能力を有する人材を育成します。

- 保健医療機関、地域、行政、教育などの現場において、リーダーまたは管理者として中心的な役割を果たし、活躍できる人材を育成する。
- 実践の現場で展開されている諸現象について科学的に検証しエビデンスを明確にするとともに、学術研究を通してそれらをさらに深化・発展させ、その成果を実践に適用することのできる人材を育成する。
- 地域社会で生じている保健医療福祉の諸課題について、その内容を学問的・体系的に俯瞰するとともに、背景にある原因や要因、解決策について解明し、関係者や社会への発信、諸制度や地域システム改善の提言、関係職種との協働活動を展開できる人材を育成する。

看護学専攻の教育目標

看護に関する学習や経験を振り返り意味づけする力、人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力、論理的に思考し人々に説明できる力を身につけ、高度専門職業人として実践の場でリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成する。

医療技術科学専攻の教育目標

臨床検査の学習や経験を基盤に、臨床検査を中心とする医療技術科学において、高度の知識を活用した医療技術の開発・改良を行う力、卓越した検査技術を駆使する力を身につけ、高度専門職業人として実践の場におけるリーダー・管理者・教育者の役割を発揮できる人材を育成する。

定員 看護学専攻５名　医療技術科学専攻３名

詳細についてはＨＰをご覧ください。
http://www.epu.ac.jp/

MESSAGE

在校生からのメッセージ Message from current students

本学は繰り返し知識・技術が習得できることが魅力です。私はこれまでの学びを通して、看護職は患者さんや家族の心に寄り添い、生活を支える素敵な職業だと感じています。また、本学の海外研修にて台湾の医学大学を訪問し、自分自身の価値観が広がる貴重な体験をしました。さらに現在同じ志を持つ仲間と救急看護の勉強会しています。最後まで仲間と切磋琢磨しながら、楽しみたいです。

看護学科４年

３回実施される臨地実習を通して、様々な現場で活躍されている検査技師を実際に見ることで、自分の将来像を広い視点から考えることができます。専門科目が増えると勉強の内容は難しくなりますが、少人数なため学内実習では先生の丁寧な指導を受けられるので、理解を深められます。忙しい中でも、課外活動や学校行事に参加することで友人たちと日々楽しく充実した大学生活を送っています。

臨床検査学科４年

1年次には看護学科との共同授業が多く配置されており、それらの科目ではディスカッションの機会が頻繁にあるため、コミュニケーション力を必要とします。それらの科目を通して、友人を増やしていきながら、コミュニケーション力を育くんでいくことが出来ます。学生数が少ないため一人一人との結びつきが強く、実習や試験の際に団結して乗り越えたときの達成感が味わえるのも魅力です。

臨床検査学科２年

学業はもちろん、アルバイトや旅行などのプライベートを楽しむ時間も多く、とても充実した生活であると感じます。特に大学では協力し合える友人や、演習で１つ１つ丁寧に指導してくださる先生がおり、恵まれた環境の中で学べていると実感しています。忙しいことや大変なこともありますが、周りに同じ目標に向かって頑張っている友人がいるため、協力し、時に刺激しあいながら日々前進しています。

看護学科２年

Messages from graduates 卒業生からのメッセージ

私は県外出身ですが、愛媛での暮らしやすさが気に入り、松山市へ就職しました。大学で学んだ「看護職はいいところ探しの名人であれ」の言葉を胸に、対象者の強みを考えながら、まずは対象者が何を望んでいるか、困っていることは何かを把握しながら、支援をしています。しんどくなったときには保健師実習を思い出したり、大学の友人と会うことで気分転換をしています。

平成２６年度 看護学科卒業
松山市保健所勤務

看護学生だった頃に、素敵な先生との出会いがあって助産師になり、現在は産科病棟で働いています。病棟では正常な経過をたどる人だけではなく、合併症がある人や心のケアが必要な人もいるため、勉強の毎日です。命の現場で働くことは楽ではありませんが、命の誕生に立ち会った感動や喜びは言葉に表すことができません。母子に寄り添い、必要なケアを提供できる助産師になれるよう日々頑張りたいと思います。

平成２８年度 助産学専攻科卒業
松山赤十字病院勤務

済生会松山病院に就職し、超音波検査室に勤務しています。本院は、一人の検査技師が循環器から腹部領域まで広い範囲を担当しており、日々様々な症例を経験します。自分の検査が診断や治療方針に直接関係するため、とても責任のある仕事です。多くの患者さんからの信頼を得るためには、まず医師に信頼される必要があると考え、日々、勉強に励み、信頼される超音波検査師を目指しています。

平成２７年度 臨床検査学科卒業
済生会松山病院勤務

ＮＴＴ西日本松山病院の産婦人科病棟に配属されて４年目になります。助産師として妊婦さん、産後のお母さん、赤ちゃんと多く関わらせて頂いています。命を生み育てるということは、順調に進むことばかりではありません。そんな時に患者さんが安心できるよう、寄り添いながらお手伝いをしています。力不足を痛感することもありますが、お母さんや赤ちゃんの笑顔に励まされながら日々努力しています。

平成２６年度 助産学専攻科卒業
NTT 西日本松山病院 産婦人科病棟勤務

キャンパスカレンダー Campus Calender

4月	入学式 前期授業開始 新入生ガイダンス 健康診断
5月	交通安全教室
6月	開学記念日 犯罪被害防止教室
7月	前期試験
8月	夏季休業 オープンキャンパス（第1回）
9月	
10月	後期授業開始 学生祭 オープンキャンパス（第2回） 消防訓練・避難訓練
11月	
12月	就職ガイダンスセミナー オープンキャンパス（第3回）
1月	冬季休業
2月	後期試験 看護師・保健師・助産師国家試験 臨床検査技師国家試験
3月	卒業式・修了式 春季休業

サークル紹介

dottore（フットサルサークル）
ソフトテニス
ＶＩＶＯ（ダンスサークル）
バレーボール
ティアレ（フラダンスサークル）
バトミントン
医技タット（ボランティアサークル）
自治会
MEDIC（テニスサークル）
SAKURA（茶道サークル）
STS サークル（障害児ボランティア）
Peer（性教育サークル）
sign（手話サークル）
バスケットボール

楽しい学生生活の中で個性を育んでいきます！

地域交流センター Regional Friendship

-知的・人材財産を地域にいかす-

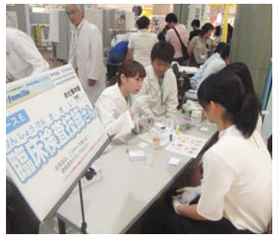
地域交流センターは、県民および保健医療福祉の専門職の交流拠点として、人材育成機能、調査研究機能、相談支援機能、情報発信機能を備え、本学の施設・設備と人材を活用した事業を展開しています。行政や医療機関、ＮＰＯ法人などの各種団体との連携を図り、専門職としての知識・技術向上への支援や、学生たちとともに県民の皆さんの交流を通じ、健康づくりに貢献できるよう活動してまいります。

地域交流センター長　豊田 ゆかり
Yukari Toyota

平成２８年度実施事業のご案内

子育てフェスタ

子ども夢プロジェクト



面白理科実験教室

看護実践セミナー

地域包括ケアを考える研修会

リレー・フォー・ライフ・２０１６

思春期保健スキルアップ研修会

臨床化学実験室
疾患の診断に有用なデータを得るため、生体中の物質の分析・測定方法を学びます。

臨床生理学実習室
脳波計や超音波診断装置などで生体の生理機能の変化を学びます。

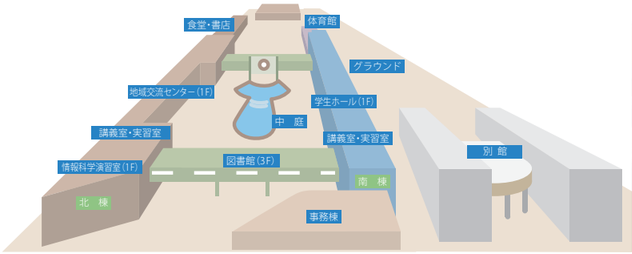
基礎看護学実習室
ベッドメーキングや血圧測定、採血など基礎的な看護技術を学びます。

成人看護学実習室
成人期にある人の治療・検査に伴う看護や療養生活を支える看護について学びます。

Campus Guide

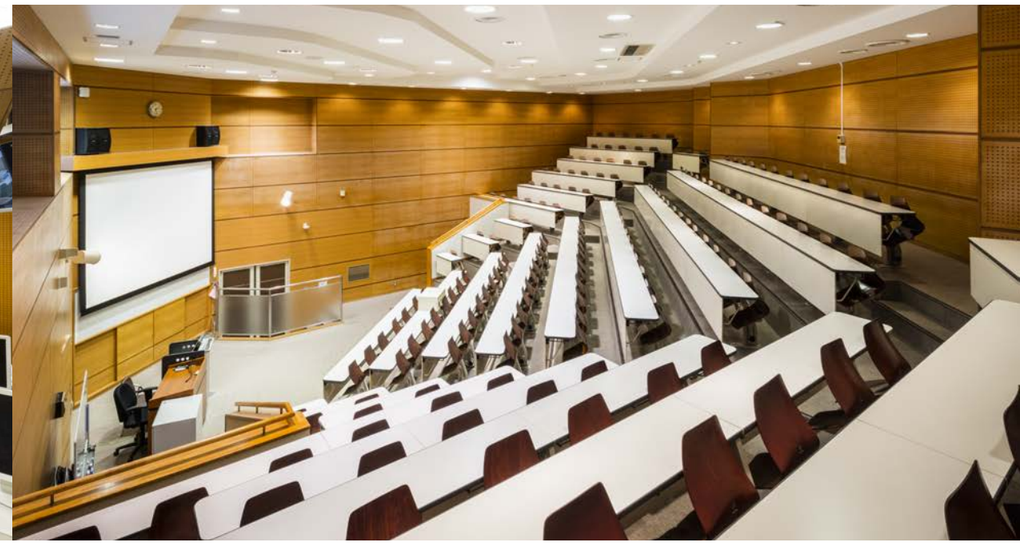
キャンパスガイド

自然に恵まれたキャンパスで、のびのびと充実した学生生活がおくれるよう施設・設備を備えています。
講義室や各実習室にはＡＶ機器、実習器具などを備え、医療技術を学ぶ十分な環境があります。
また、高度情報化時代に対応した学内ＬＡＮシステムを整備しており、学内の図書館、演習室、学生自習室、学生ホールなどでは、無線ＬＡＮにより、インターネットや学内サーバーへの接続が可能です。

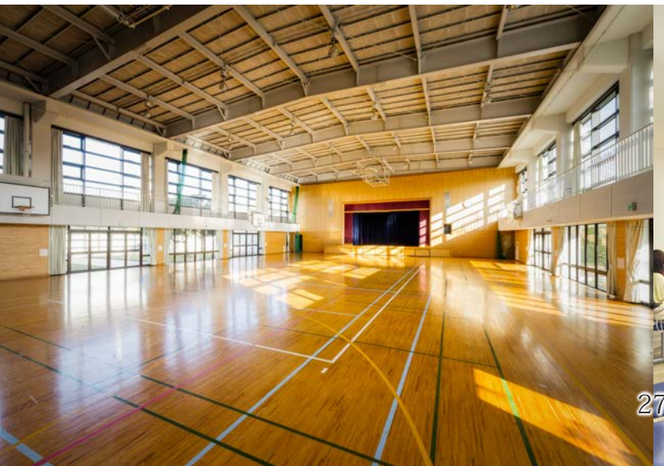


情報科学演習室
最新のパソコンを52台設置して、インターネットに常時接続。
学生全員にe-mailアドレスが与えられます。

階段講義室
150インチのプロジェクターを備えた、183名収容の階段教室。
両学科合同で開講する科目など大人数で受講する授業やＡＶ機器を使う授業に使用します。



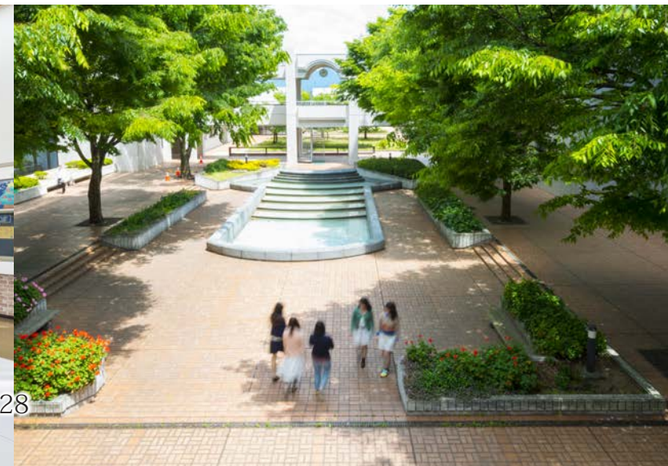
体 育 館
スポーツの授業で利用するほかサークル活動でも利用できます。



学生ホール
自動販売機、銀行のキャッシュコーナー、求人案内のコーナーがあります。
団らん、情報交換の場に利用しています。

食 堂
食堂横には、昼食時に利用できるスペースを設けています。

中 庭
豊かな緑に囲まれ、学生の憩いの場となっています。



入学試験・オープンキャンパスについて

入学試験情報

平成３０年度入学試験実施状況

学部学科または専攻科の別		定員	募集人数 A		出願者 B	受験者 C	合格者 D	入学者 E	出願倍率 (B/A)	受験倍率 (C/A)	合格倍率 (C/D)
保健科学部	看護学科	75	前期	42	211	174	44	43	5.0	4.1	4.0
			後期	5	133	51	5	4	26.6	10.2	10.2
			推薦	26	83	83	28	28	3.2	3.2	3.0
			社会人	2	2	2	0	0	1.0	1.0	0.0
			計	75	429	310	77	75	5.7	4.1	4.0
	臨床検査学科	25	前期	15	49	41	21	18	3.3	2.7	2.0
			推薦	10	22	22	7	7	2.2	2.2	3.1
			計	25	71	63	28	25	2.8	2.5	2.3
	学部合計	100	前期	57	260	215	65	61	4.6	3.8	3.3
			後期	5	133	51	5	4	26.6	10.2	10.2
			推薦	36	105	105	35	35	2.9	2.9	3.0
			社会人	2	2	2	0	0	1.0	1.0	0.0
			計	100	500	373	105	100	5.0	3.7	3.6
助産学専攻科		15	本学	4	5	5	4	4	1.3	1.3	1.3
			県内枠 / 一般	11	20	18	12	10	1.8	1.6	1.5
			(内) 県内枠	4	5	5	5	5	1.3	1.3	1.0
			計	15	25	23	16	14	1.7	1.5	1.4
保健医療学研究科	看護学専攻	5	一般 / 社会人	5	5	5	5	5	1.0	1.0	1.0
	医療技術科学専攻	3	一般 / 社会人	3	2	2	2	2	0.7	0.7	1.0
	大学院合計	8	計	8	7	7	7	7	0.9	0.9	1.0

平成３１年度入試募集要項の請求

資料の請求方法　インターネット・電話による請求申込

テレメール(インターネットまたは 24 時間自動音声応答電話)をご利用下さい。

インターネット (パソコン・携帯電話各社共通アドレス) http://telemail.jp　or　自動音声応答電話 IP 電話 050-8601-0101

スマートフォン
ケータイ用バーコード
からも簡単に請求できます。

資料請求番号

一般入試募集要項	549300 (215 円後納)
特別選抜募集要項 (推薦、社会人、私費外国人)	549310 (250 円後納)
助産学専攻科募集要項 (推薦・一般)	546120 (250 円後納)

※送料はお届けする資料に同封されている支払い方法に従い、表示料金をお支払い下さい。
※発送開始日以前に請求された資料は予約受付になり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から 2~3 日程度で資料が届きます。

請求方法についてのお問い合わせ　テレメールカスタマーセンター IP 電話 **050-8601-0102**

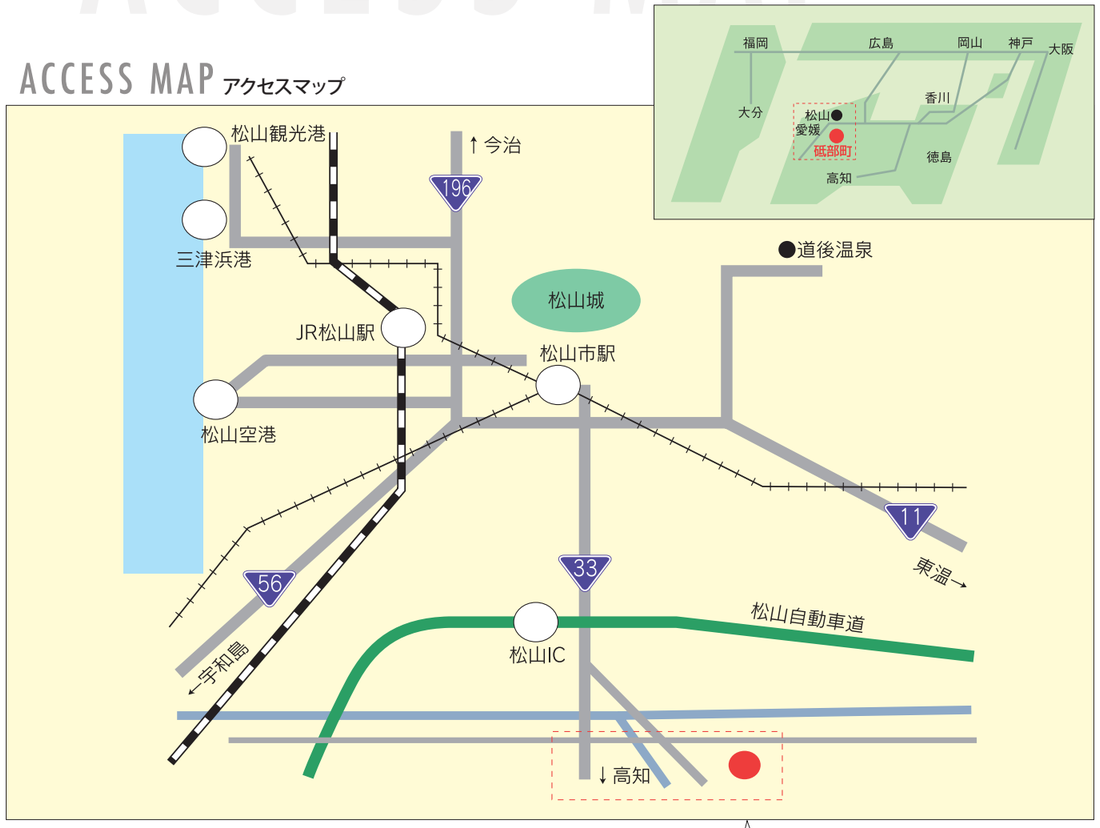
オープンキャンパス・大学見学について

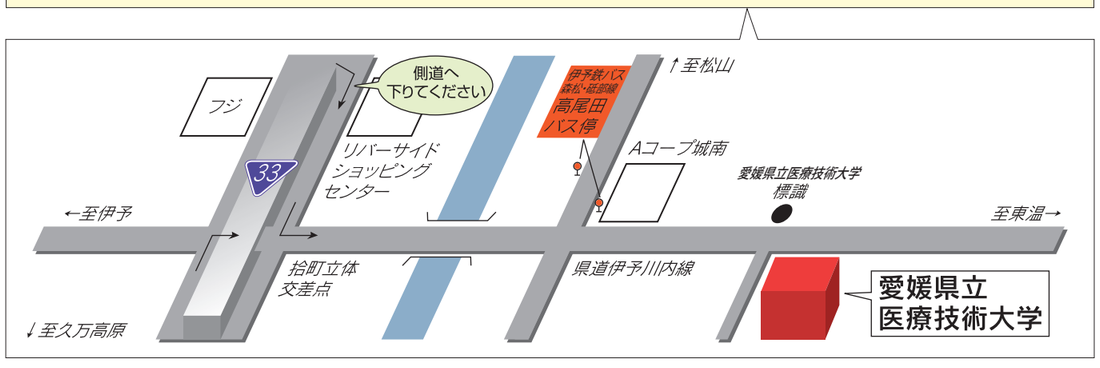
本学では、例年オープンキャンパスを実施しています。在学生と教員による大学紹介、施設紹介、模擬実習など、大学を肌で感じることができます。
また、大学見学をご希望の方は、事前に（できれば１週間前までに）大学事務局に確認してからお越しください。日程や時間の調整ができれば、実際の演習や授業風景をご覧いただくことも可能です。なお、本学は土曜日、日曜日及び祝祭日はお休みです。平日であれば、夏休み・冬休み期間中でも見学等に対応しています。

問い合わせ／愛媛県立医療技術大学　教務学生グループ　ＴＥＬ０８９－９５８－２１１１（内線１０８・１０９）

ACCESS MAP

ACCESS MAP アクセスマップ





松山観光港	連絡バスと郊外電車約40分	松山市駅	伊予鉄バス 森松・砥部線 砥部方面行約30分	高尾田バス停
三津浜港	伊予鉄バス約30分			
松山空港	伊予鉄バス約20分			
JR松山駅	市内電車約10分			
松山自動車道	松山自動車道松山ICで降り、国道33号線を高知、久万高原方面に右折。約3km南の砥部町抬町立体交差点で、県道23号伊予川内線を東温方面に左折。約1km直進し、愛媛県立医療技術大学標識を右折すぐ。			

高尾田バス停 → 徒歩約10分 → 愛媛県立医療技術大学